

# 令和5年度 第3回 高齢者支援部会

## 議事録

日 時: 令和6年2月21日(水)

19時30分～19時55分

場 所: 帯広市役所10階 第3会議室

### (会議次第)

#### 1 開 会

#### 2 議題

(1) 令和5年度第2回高齢者支援部会議事録の確認

(2) 令和6年度予算(案)について

(3) その他

#### 3 閉会

### (委員・専門委員)

- 出席(9名うち会議途中からの出席者1名)

< 高齢者支援部会(9名) >

山並委員、山本委員、末永委員、下坪委員

畠山専門委員(途中出席)、東専門委員、川向専門委員、野尻専門委員、鈴木専門委員

### (事務局)

- 介護高齢福祉課(6名)

佐藤課長、野原主幹、高橋課長補佐、斉藤係長、渡辺係長、山本主任補

- 地域福祉課(2名)

永田課長、藤本課長補佐

### (議事録)

- 事務局

本日は皆様ご多忙の中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまから、帯広市健康生活支援審議会 第3回高齢者支援部会を開会いたします。

本日は、委員及び専門委員の皆様9名中8名(途中出席者がいたため、この時点では8名)のご出席により、過半数のご出席をいただいておりますので、本合同部会は帯広市生活支援審議会条例施行規則第4条第1項の規定により、成立しておりますことをご報告させていただきます。

それでは次に、本日の資料を確認させていただきます。

事前に皆様に送付しております、

- ・会議次第
- ・資料1 令和5年度第2回高齢者支援部会議事録
- ・資料2-1から2-2 一般会計予算
- ・資料3-1から3-3 介護保険会計予算
- ・資料4 介護保険事業の概要

また、机上に配付しております、

- ・座席表

以上の資料につきまして、不足等ございましたらここでお申し付けください。よろしいでしょうか。

(各委員及び専門委員 不足等なし)

それでは、以後の進行は山並部会長にお願いいたします。

#### ● 部会長

それでは、会議次第の「2 会議」に入らせていただきます。

初めに、(1)の「令和5年度第2回高齢者支援部会議事録の確認」でございますが、資料1をご覧ください。

こちらの議事録につきましては、この場で皆様にご確認いただいた後、帯広市のホームページ上に公開する予定でございます。

議事録の内容について、皆様からご意見やご質問はございますか。

(各委員及び専門委員 意見等なし)

よろしいでしょうか。

それでは、ご承認いただけたということで、こちらの議事録を公開させていただきます。

次に、(2)「令和6年度予算(案)について」事務局より説明願います。

#### ● 事務局

それでは、資料2-1、令和6年度 介護高齢福祉課 一般会計予算(概要)をご覧ください。

まずは、表題のすぐ下でございます、一般会計の総事業費は、7億4,613万7千円となっております。

また、主な事業費につきましては、その下にあります「老人福祉費」で、7億3,425万3千円となっております。

続きまして、個別の事業費の主な増減の理由を、一部抜粋し、説明してまいります。

まず、黒丸4つ目「高齢者在宅生活支援費(扶助費)」は668万3千円となっております。

令和5年度と比較しますと、168万8千円、率にいたしまして、33.8%の増となっております。

主な増の要因としましては、紙おむつ等の介護用品と引き換え可能な給付券を交付する、家族介護用品支給事業の利用者増を見込んだことによるものです。

次に、黒丸5つ目「ひとり暮らし高齢者緊急通報システム事業費」は1,755万8千円となっております。

令和5年度と比較しますと、220万3千円、率にいたしまして、11.1%の減となっております。

主な減の要因としましては、緊急通報システムの利用者減を見込んだことによるものです。

なお、資料2-2では、令和3年度以降の事業費別の予算額及び決算額の推移を記載しております。  
資料2につきまして、説明は以上でございます。

- 部会長

ただいまの説明について、ご意見やご質問等はございますか。

- 委員

「高齢者在宅生活支援費(扶助費)」につきまして、家族介護用品支給事業の利用者増を見込んだとのことで、前年度対比で33.8%の増とのことですが、何か予算を積算するにあたっての根拠はありますでしょうか。

- 事務局

一般会計の本事業におきましては、要介護3の方を対象とした介護用品支給事業となります。(要介護4及び5の方については介護保険会計の事業として実施)

令和6年度予算につきましては、実績として新規登録者数が増加傾向にあることから、利用者増を見込んだところであります。

- 部会長

そのほか、ご意見やご質問はございますか。

- 委員

「高齢者おでかけサポートバス事業費」につきまして、率にしますと3%の減ではありますが、金額にしますと569万5千円と大きな金額の減少になるかと思えます。

利用者の減少を見込んでいるものかと思いますが、コロナウイルス感染症の影響による規制の緩和を受け、利用者が増加するといった要素はないのでしょうか。

- 事務局

事業内容につきましては変更ありませんが、コロナウイルス感染症の影響を受ける前と比較し、利用者がなかなか回復していない状況であります。

また、バス会社の減便、大型施設の相次ぐ閉店といった現状から、近年の実績に応じた予算額となったところでございます。

- 部会長

そのほか、ご意見やご質問はございますか。

(各委員及び専門委員 意見・質問等なし)

他にご質問等なければ、続けて、事務局より説明願います。

- 事務局

それでは、資料3-1、令和6年度 介護保険会計予算(概要)をご覧ください。

まずは、表題のすぐ下でございます、介護保険会計の総事業費は、171億3,140万1千円となっております。

続きまして、個別の事業費の主な増減の理由を、一部抜粋し、説明してまいります。

資料左側、上から1つ目の囲み「保険給付費」は158億1,614万9千円となっており、総事業費の大半を占めております。

令和5年度と比較しますと、4億6,186万3千円、率にいたしまして、3%の増となっております。

主な増の要因としましては、要介護(要支援)認定者の増や報酬改定に伴う給付費の増によるものです。

次に、資料左側、上から4つ目の囲み「包括的支援事業費」中の黒丸3つ目「在宅医療・介護連携推進事業費」は67万7千円となっております。

令和5年度と比較しますと、20万5千円、率にいたしまして、23.2%の減となっております。

主な減の要因としましては、住民啓発の方法を映画上映会からパネル展に変更したことによるものです。

次に、資料左側、上から5つ目の囲み「任意事業費」中の黒丸3つ目「介護給付等費用適正化事業費」は213万4千円となっております。

令和5年度と比較しますと、148万6千円、率にいたしまして、41%の減となっております。

主な減の要因としましては、国の給付適正化事業の見直しに伴う、給付費通知の廃止によるものです。

最後に、資料右側、上から4つ目の囲み「一般管理費」中の黒丸1つ目「一般管理事務費」は4,757万7千円となっております。

令和5年度と比較しますと、1,155万1千円、率にいたしまして、32.1%の増となっております。

主な増の要因としましては、制度改正の伴うシステム改修費の増によるものです。

また、黒丸2つ目「一般管理事務費(臨時)」は35万7千円となっております。

令和5年度と比較しますと、241万3千円、率にいたしまして、87.1%の減となっております。主な減の要因としましては、第九期計画策定にあたっての支援委託料の減によるものです。

なお、資料3-2及び3-3では、令和3年度以降の事業費別の予算額及び決算額の推移を記載しております。

資料3につきまして、説明は以上でございます。

## ● 部会長

ただいまの説明について、ご意見やご質問等はございますか。

(各委員及び専門委員 意見・質問等なし)

ご質問等なければ、続けて、事務局より説明願います。

## ● 事務局

それでは、資料4、介護保険事業の概要をご覧ください。

1ページ目の「被保険者の状況」をご覧ください。

まず、1番目「第1号被保険者数」につきまして、表には、本市における平成27年度以降の人口や、第1号被保険者数などの推移を記載しております。

今年度の状況としまして、令和6年1月末時点の情報になりますが、総人口は16万2,254人、第1号被保険者数は4万9,523人、総人口に占める第1号被保険者の割合は30.52%となっております。

また、グラフにつきましては、棒グラフで本市の人口、折れ線グラフで第1号被保険者数を表しており、人口が徐々に減少している一方、第1号被保険者数は徐々に増加していることが分かります。

続きまして、2ページ目をご覧ください。2番目「要支援・要介護認定者数」につきまして、表には、本市における平成27年度以降の介護度別の認定者数などの推移を記載しております。

今年度の状況としまして、令和6年1月末時点の情報になりますが、要支援・要介護認定者数の合計が1万955人、うち第1号被保険者の認定者数は1万766人となっております。

また、第1号被保険者に占める第1号被保険者の認定者の割合は21.74%となっており、年々、増加しております。

なお、グラフにつきましては、介護度別の認定者数の推移を棒グラフで表しているものです。

続きまして、3ページ目「介護保険給付費の状況」をご覧ください。

表の左から3列目一番下、令和5年度の計画値として、給付費の合計で、155億6,588万7千円を見込んでおりましたが、表の右から4列目、令和5年度の実績見込みでは、150億8,898万2千円となっており、計画対比率で、96.9%と、概ね計画どおりに進捗しております。

なお、令和5年度の給付費の増減理由等は、資料の下部に記載しております。

続きまして、4ページ目「介護サービス別利用量の実績と計画」をご覧ください。

こちらの表では、令和5年度のサービス利用人数や利用回数の計画値と決算見込み、また執行率をサービス種類ごとに比較しております。

併せて、令和6年度の計画値・予算値について記載しております。

次に、資料左側「介護給付」の表のうち、令和5年度の実績見込みが計画値と大きく乖離している項目について説明いたします。

まずは、短期入所系サービスにつきまして、短期入所生活介護(特養のショートステイ)が61.0%、短期入所療養介護(老健のショートステイ)が69.3%となっておりまして、利用人数の減少が主な要因となっております。

次に、定期巡回・随時対応型訪問介護看護につきましては、24時間対応型の唯一の在宅サービスであり、計画策定時よりもニーズが高くなっていることから、147.6%と計画値を大きく超えております。

なお、資料右側の予防給付の表につきましては、介護給付と概ね同様の動きとなっております。

最後に、5ページ目「介護保険料の状況」をご覧ください。1番目「段階別保険料」につきましては、第九期計画における令和6年度からの所得段階別保険料額を記載しております。第九期の保険料につきましては、基準額となる第5段階が月額6,270円となり、第八期から380円の増となっております。

また、国の介護保険料の標準段階が9段階から13段階に多段階化したことに伴い、市においても現行の15段階から17段階へ見直しを行っております。

続いて、その下の2番目「保険料の収納状況(現年度分)」では、令和3年度からの介護保険料の収納率の推移などを記載しております。

令和5年度の収納率は令和6年1月末時点で、82.35%となっておりますが、年度末には例年並みの収納率に落ち着くものと考えております。

また、その下の3番目「令和5年度保険料の収納状況」では、年金からの天引きで納める特別徴収と納付書や口座振替などで納める普通徴収の収納状況の内訳を記載しており、その右の4番目「保険料の軽減制度」では、本市で実施しております、介護保険料の軽減制度の実施状況を記載しているものであります。

資料4につきまして、説明は以上でございます。

- 部会長

ただいまの説明について、ご意見やご質問等はございますか。

(各委員及び専門委員 意見・質問等なし)

- 部会長

それでは、本日の議事は以上ですが、その他、皆様から何かございますか。

(事務局及び各委員・専門委員 連絡事項等なし)

- 部会長

それでは、以上で予定されていた議事はすべて終了いたしました。

本日の高齢者支援部会はこれにて閉会いたします。

皆様、大変お疲れさまでございました。